

BESV Experience
Amazing

取扱説明書：車両操作マニュアル



Brand : BESV

Model : CF1 LENA

Code : YTFRXV



あなたの安全を守るため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、十分内容を理解してください。
また、必要な時にすぐ確認できるように、本取扱説明書を所定の場所に保管してください。

0	目 次	01
1	各部名称	02
2	バッテリーの脱着・充電方法	03
3	電源の入れ方	04
4	アシストモードと走行可能距離について	05
5	HMIディスプレイの操作方法	06
6	可変式ハンドルステムの調整方法	08
7	リアキャリアについて	08
8	仕様書	09

0-1 本書で使用しているマークについて

この取扱説明書では、間違った取扱いによる事故を防止するために、安全に関する注意事項を以下のマークを使って説明しています。これらの注意事項を必ず読み、完全に内容を理解してからご使用ください。



警告

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害や物的損害を負う可能性が想定される」内容です。



禁止

この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。

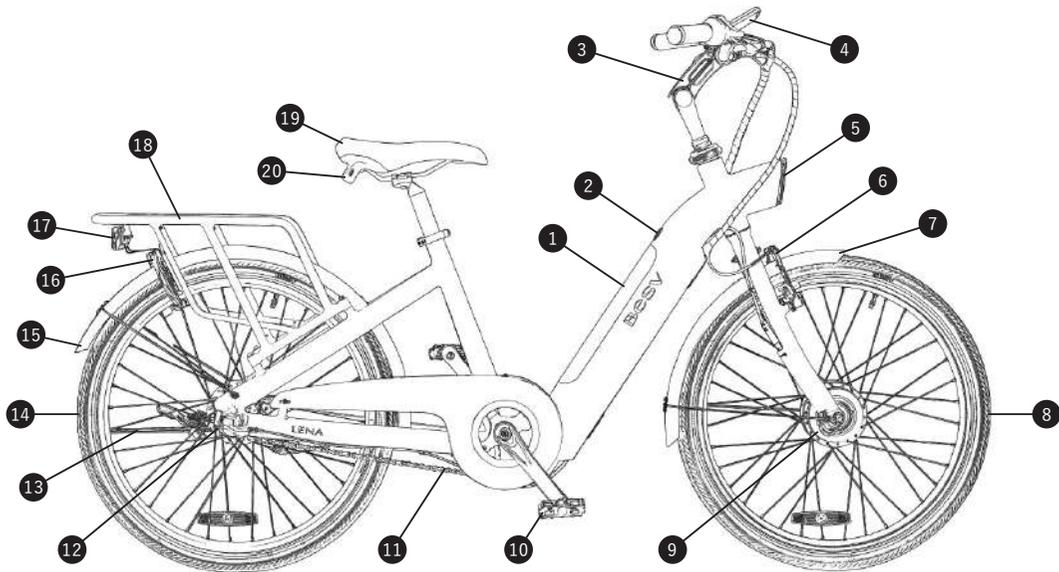


強制

この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。

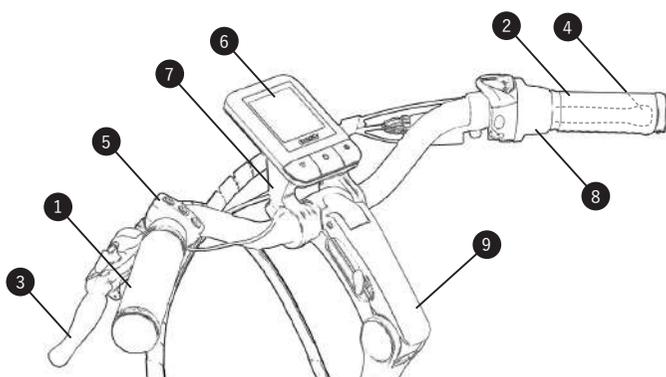
1 各部名称

1-1 車体各部名称



- | | | | |
|--------------|-------------|-----------|-------------------|
| ① バッテリー | ⑥ フロントブレーキ | ⑪ チェーン | ⑬ サークル錠 |
| ② バッテリーキー | ⑦ フロントフェンダー | ⑫ リアブレーキ | ⑭ リアライト (ブレーキランプ) |
| ③ 可変式ハンドルステム | ⑧ 前輪 | ⑬ キックスタンド | ⑯ リアキャリア |
| ④ HMIディスプレイ | ⑨ モーター | ⑭ 後輪 | ⑰ サドル |
| ⑤ フロントライト | ⑩ ペダル | ⑮ リアフェンダー | ⑱ サドルグリップ |

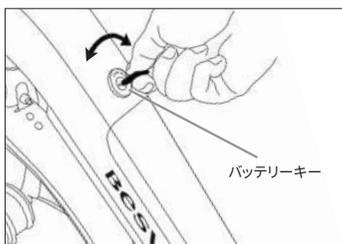
1-2 ハンドル各部名称



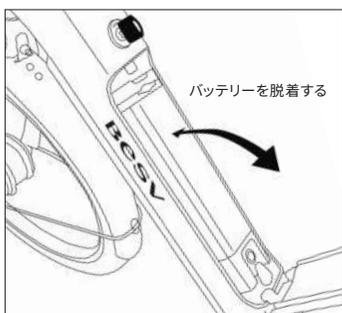
- | |
|--------------|
| ① 左グリップ |
| ② 右グリップ |
| ③ 後ブレーキレバー |
| ④ 前ブレーキレバー |
| ⑤ HMIスイッチ |
| ⑥ HMIディスプレイ |
| ⑦ HMIホルダー |
| ⑧ グリップシフター |
| ⑨ 可変式ハンドルステム |

2 バッテリーの脱着・充電方法

2-1 バッテリーの脱着



バッテリー脱着の前後には、バッテリーキーを回して「OPEN」/「LOCK」の位置に合わせる



バッテリーカバーを完全に開けてから脱着を行う

バッテリーの脱着の際は、必ずバッテリーカバーを完全に開けてから行うようにしてください。

◆ バッテリーの取り外し

- ① バッテリーキーを「OPEN」の位置に合わせ、バッテリーカバーを開けてください。
- ② フレームからバッテリーを外してください。

◆ バッテリーの取り付け

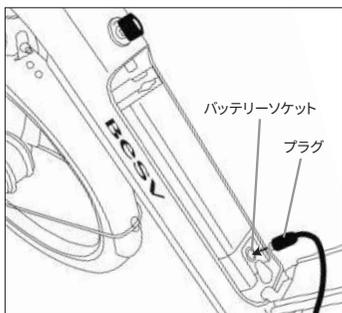
- ① バッテリーカバーを開け、両手でバッテリーをゆっくりと入れ、底部の端子に装着できるようにセットしてください。
- ② バッテリーキーを「LOCK」の位置に合わせバッテリーカバーを閉じてください。(バッテリーを入れるとカチッと音がします。)

⚠ 注意

バッテリーが正しく接続されていない場合、バッテリーは安全に使用できません。

走行中にバッテリーカバーが開くと、予期せぬ危険が生じる可能性がありますので、必ず指示に従ってバッテリーを取り付けてください。

2-2 バッテリーの充電方法

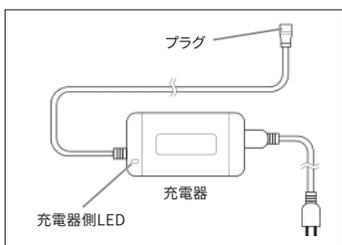


◆ 充電方法

- 充電器のプラグをバッテリーソケットに差し込んでください。
- 充電時間はバッテリーの残り電量と電流によって変わります。
- 許容入力電圧は AC 100 - 240 V ~ 2A (50/60Hz) です。この適正範囲外での充電は故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 通常充電時間は、3.5 時間です。
- 充電はバッテリー単体でも、車体に取り付けたままでも充電が可能です。

⚠ 注意

プラグにある突起と充電ポート側の溝の向きを合わせて、まっすぐ奥まで差し込んでください。無理にねじ込むとプラグや充電ポートを破損する恐れがあります。



◆ 充電器側 LED

- 充電中 = 赤 LED 点灯
- 充電完了 = 緑 LED 点灯

3 電源の入れ方

バッテリーが車両本体に、正しく装着されていることを確認してください。

⚠ 注意

バッテリーが正しく装着されていないと、走行中に正しく電力供給ができなかったり、バッテリーが車体から外れるなど、事故の原因になります。

3-1 電源の入れ方



◆ 電源 ON

バッテリーを車両に正しく装着し、HMIディスプレイの電源ボタンを長押ししてください。ディスプレイが点灯して電源が"ON"になります。

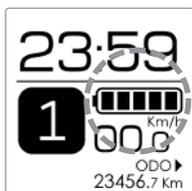
◆ 電源 OFF

HMIディスプレイの電源ボタンを長押ししてください。ディスプレイが消灯して電源が"OFF"になります。

また、電源が入ったままでも、約3分放置すると電源は自動で"OFF"になります。

- ディスプレイが点灯したら、アシストモードを設定し走行してください。
- 電源 ON の際は、周囲の状況を把握し、必ずサドルにまたがってから発進してください。
- ペダルに力が加わると電動補助力が働き、転倒や接触事故の恐れがありますので、「蹴り乗り」はしないでください。
- 電源 ON のまま駐車、停車、自転車の押し歩きをする際は、ペダルに足や荷物が触れないようにしてください。電動補助力が働き、転倒やケガのおそれがあります。

3-2 バッテリー残量表示



HMI ディスプレイのバッテリー残量表示で、バッテリーの残量が確認できます。

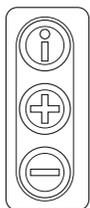
- バッテリー残量が **20% 以下**になると、アシストモードは強制的に **1** (エコモード) になります。
- **1% 以下**になると、強制的に **0** (OFF モード) になりますが、バッテリーが無くなるまでライトは点灯できます。(最長 120 分) ※

表示	バッテリー残量
	100% ~ 81%
	80% ~ 61%
	60% ~ 41%
	40% ~ 21%

表示	バッテリー残量	備考
	20% ~ 2%	バッテリー残量を温存するため、アシストモードが強制的に 1 (エコモード) になります。
	1%	アシストモードは強制的に 0 (OFF モード) になりますが、ライトは点灯できます。(最長 120 分) ※
	0%	

※ バッテリーの経年劣化の度合いによって、ライトを点灯できる時間は変わります。

4 アシストモードと走行可能距離について

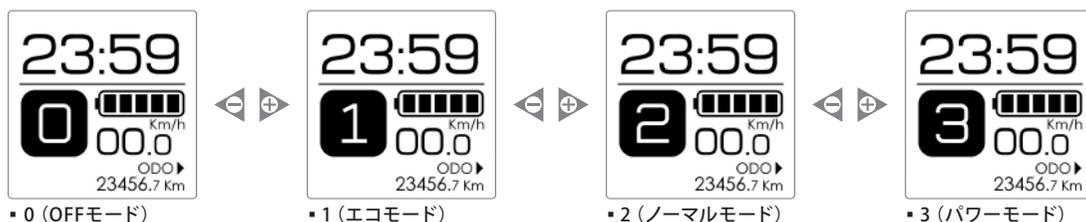


▪ HMIスイッチ

本製品には4つのアシストモードがあります。

- 「0」「1」「2」「3」の各モードは、ハンドルにあるHMIスイッチの[+] [-]ボタンを押して順に切り替えます。
- 「0」「1」「2」「3」の各モードから[+] [-]ボタンを長押しすることで、「S」モードを選択できます。
- 「S」モードから[+] ボタンを押すと「3」、[-] ボタンを押すと「1」モードに戻ります。

◆ OFF / 1 / 2 / 3 各モードの切り替え



◆ S (スマートモード) の切り替え



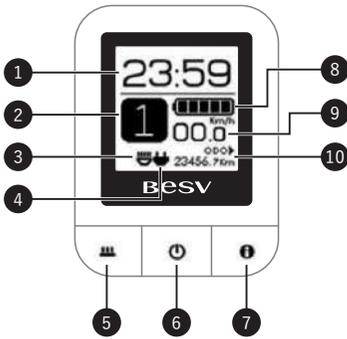
MODE/名称	特徴
0 (OFF モード)	アシスト出力無し、通常の自転車としてご利用頂けます。
1 (エコモード)	アシスト力を抑え、長距離走行に適しています。
2 (ノーマルモード)	本来の乗り味を楽しめます。
3 (パワーモード)	アクティブな走行が楽しめます。 (※バッテリーの持ちがエコモードの半分以下になります。)
S (スマートモード)	ペダル踏力に応じて最適なアシスト力を自動調整します。 走行環境にあった快適なライディングができます。

※ アシスト走行可能距離は下記の条件によって変わります。

- アシストモード ▪ 路面状況 ▪ タイヤ空気圧 ▪ 走行状態(変速機の使用) ▪ 積載重量 ▪ 気温 ▪ 風速 など

※ バッテリー容量が 20% 以下になると強制的に 1 (エコモード) に、1% 以下になると強制的に 0 (OFF モード) になります。

5-1 HMIディスプレイ表示名称・スイッチボタン名称



- ① 時計
- ② アシストモード
- ③ ライト ON マーク
- ④ 充電中マーク
- ⑤ ライト ON/OFF ボタン
- ⑥ 電源 ON/OFF ボタン
- ⑦ インフォメーションボタン
- ⑧ バッテリー残量
- ⑨ 速度計
- ⑩ パラメーター表示

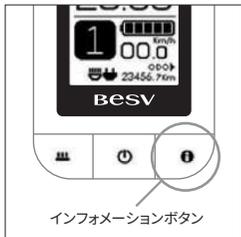
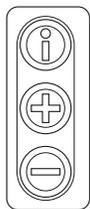
5-2 パラメーターの切り替え表示

HMI スイッチの [] ボタン、または HMI ディスプレイのインフォメーションボタン () を押すたびに、HMI ディスプレイのパラメーター表示が切り替わります。

メニュー設定で「ALT display」を「Yes」にした場合は、各パラメーターが自動的に切り替わって表示されます。詳細は本マニュアルの 07 ページをご参照ください。



※ Range 計の算出方法は、バッテリー消費量当たりの過去の実走行距離の記録に基づいて表示されます。例えば、重いギアで、急な坂道を走行し続けた場合は、バッテリー消費量当たりの実走行距離が短くなります。現在のバッテリー残量にその効率を当てはめて計算する為、Range 表示は、短く表示される傾向にあります。この算出には過去すべての走行記録が反映され、直近になるほどその計算影響度が高くなります。坂道走行時でも、最適なギア位置で走行する事で、バッテリー消費効率が良くなり、Range 計の表示 km 数は長くなります。



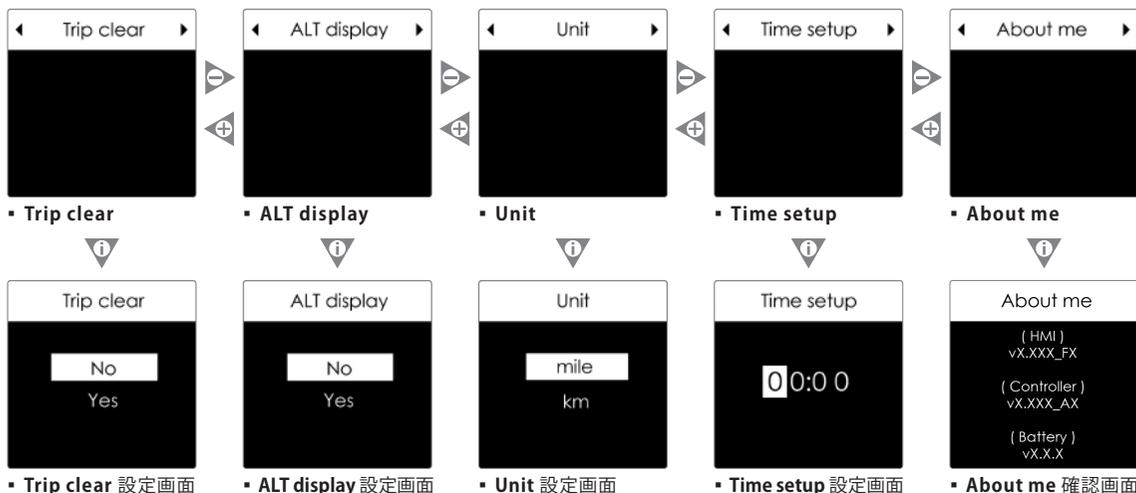
- HMIスイッチ
- HMIディスプレイ

HMIスイッチの [] ボタン、または HMI ディスプレイのインフォメーションボタン () を長押しすると、各メニュー選択画面 (設定モード) に入ります。

HMIスイッチの [] [] ボタンでページの切り替えや、カーソルの移動ができます。

各設定メニューでは、カーソルで項目を選択し、HMIスイッチの [] ボタン、または HMI ディスプレイのインフォメーションボタン () で決定します。

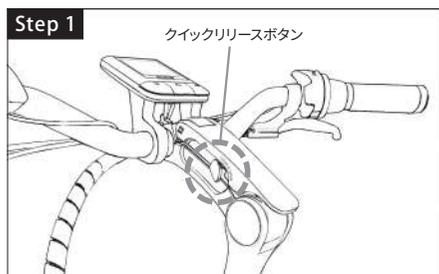
◆ 各メニュー選択画面と設定画面



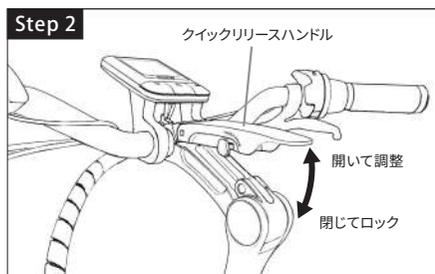
メニュー	内容
Trip clear	[] [] ボタンでカーソルを移動させて「Yes」を選択し [] ボタンで決定することで「Trip (走行距離)」の記録をリセットします。「Trip (走行距離)」をリセットすると「Avg (平均速度)」もリセットされます。 ※ODO (走行距離積算計) はリセットすることができません。
ALT display	メイン画面のパラメーター表示を、自動スクロール (自動切り替え) 表示させるかどうかを選択できます。 ▪ 「No」: パラメーター表示の切り替えは [] ボタンを押して手動で切り替えます。 ▪ 「Yes」: パラメーター表示は自動的に切り替わって表示されます。
Unit	スピード表示の単位を、「mile」「km」のどちらにするか選択できます。表示したい単位を選び、[] ボタンで決定します。
Time setup	時刻の数字を1桁ごとに [] [] ボタンで合わせて [] ボタンで決定していきます。4桁の設定が完了すると、「X」「O」の確認画面が表示されますので、時刻を確定して終了する場合は「O」を、再度時刻を設定する場合は「X」を、[] [] ボタンで選択して [] ボタンで決定します。
About me	この製品のHMIディスプレイ、コントローラー、バッテリーのファームウェアのバージョンの確認ができます。

6 可変式ハンドルステムの調整方法

この車両のハンドルステムには、ワンタッチ可変式ハンドルステムを採用しています。
容易にハンドル角度の調整が可能となり、ご自身で最も快適なライドポジションを見つけることができます。



可変式ハンドルステム左側にある、クイックリリースボタンを押します。

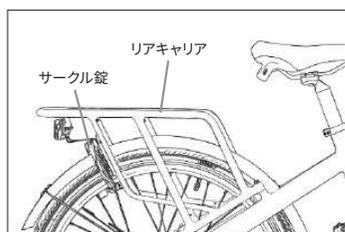


クイックリリースハンドルを開いてハンドルの高さやブレーキの角度などを調整し、クイックリリースハンドルを元に戻します。カチッと音がするまでしっかりと閉じ、正しくロックしてください。

⚠ 注意

乗車前に、ハンドルが固定されていることを必ず確認してください。ガタ・ゆるみがある場合は、販売店でのメンテナンスをお願いします。

7 リアキャリアについて



この製品には、リアキャリアが標準装備されています。

- リアキャリアの耐荷重量は最大 27kg までです。
- この製品には、市販のチャイルドシートを取り付けることができます。
- チャイルドシートを取付けてご使用の際は、安全対策として必ず標準装備のキックスタンドを **CF1 LENA 専用の両立スタンド**に交換してください。
- 取り付け可能なチャイルドシートは、自転車販売店にご相談ください。

⚠ 警告

法律で 2 人乗りが認められるのは以下の条件のみです。

- 幼児を乗せて運転する場合は、運転者は 16 歳以上である必要があります。
- 安全基準を満たしたチャイルドシートの装着が必要であり、載せられる幼児は 6 歳未満のお子様に限られます。

また、この製品は、「幼児 2 人同乗自転車」ではありませんので、同乗できる幼児は 1 人だけです。

⚠ 注意

両立スタンドをご使用時は、必ずサークル錠を開錠してから、両立スタンドのロックを外してください。

サークル錠を施錠したまま両立スタンドのロックを外して前進すると、スポークとサークル錠が干渉してスポークの破損につながる恐れがあります。

8 仕様書

◆ BESV CF1 LENA 仕様書 (駆動補助機付き自転車及び普通自転車)

◆ 製品の名称		BESV CF1 LENA
◆ 製品の型式		YTFRXV
◆ 大きさ	全長	1740 mm
	全幅	580 mm
	高さ	1070 mm
	車重	21.5 Kg
◆ タイヤ (バルブ形式)		24×2.0 (英式)
◆ 変速機方式		内装3速
◆ 制動装置	前輪	Vブレーキ方式
	後輪	ローラーブレーキ方式
◆ 電動機	形式	DC 36V ブラシレスハブモーター
	定格出力	250 W (最大定格)
◆ 動力伝達装置の種類		チェーン式
◆ 主要構造		前輪駆動
◆ 駆動補助装置の種類及び形式		前車軸合力発生型
◆ 駆動補助制御方式		踏力比例式制御方式
◆ 車速検出装置の方法		リヤハブマグネットパルス検出方式 (前輪回転時)
◆ 補助速度比率	比率 (最大)	1:2 以下
	低減 (最大)	1:2 以下
◆ 補助速度範囲	比例補助	0 km/h 以上 10 km/h 未満
	低減補助	10 km/h 以上 24 km/h 未満
◆ バッテリー	電圧	36 V
	容量	7.0 Ah
	充電時間	3.5 時間
	重量	約1.45 kg
◆ リアキャリア		耐荷重:27 kg

◆ 純正オプションパーツ

商品名	有無	備考
◆ フロントバスケット	○	耐荷重:10 kg

BESV Experience
Amazing

● 修理や部品のご注文は、まずはお買い上げの販売店へご相談ください。

※ 製品仕様は予告なく変更されることがあり、画像や内容が一部実車と異なる場合があります。

株式会社 BESV JAPAN

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-19-9 SGビル

Have
A
Nice
Cycling

